



田島小だより

No. 1 4

新年あけまして おめでとうございます。

いよいよ「まとめ」の、そして「旅立ち」の学期となりました。その令和6年度を充実したものとするためには、この時期がとても大切です。本年度の学習内容の確実な定着を図ることが、次年度のスムーズなスタートにつながるからです。1年間の、卒業生にとっては6年間のまとめにしっかりと取り組ませたいと考えています。

さて、2学期末に以下のお手紙を保護者の方からいただきました。



12月8日日曜日、田島小学校の一大イベントである3年生の歌舞伎公演が執り行われました。

特別支援学級児童の保護者として、入学時から歌舞伎公演が心配で仕方ありませんでした。しかし、(中略)無事大成功で終わることができました。

(中略)

全員持てる力を十分に発揮し、自分の役目を全うしていました。それは、1年生の頃から様々な体験をし、自信をつけてきた経験値と、嫌にならないように無理をしないで、**スモールステップ**してきた成果が実を結んだ結果だと思います。

特性に合った合理的な配慮で学びを教えてくれる先生方、いつも支えてくださる支援員の先生方、我が子のように応援してくださる保護者の皆さん、療育先、関係機関、家族以外の大勢の大人に大切に育てられてとても幸せな子供たちです。

大好きな友達と切磋琢磨し、みんな大きく成長することができました。

(中略)

関わってくださった皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。 ※下線部:校長強調

この手紙を拝読し、本校のスローガンである「期待の登校 満足の下校」が実現できた一例と大変うれしく思いました。

ここで下線をつけた部分をもとに本校の取り組む特別支援教育についてお知らせしたいと思います。

まずは「**特性に合った合理的配慮**」についてです。

自身の経験を思い出していただければと思いますが、「視力が落ちてくると、座席を前の方にする。」より視力が落ちると「眼鏡をかける。」これらは一つの障がいに対し行う「合理的な配慮」といえます。また「身長が低い人のために、その差をなくすために『踏み台』を使う。」なども、合理的配慮の例として示されます。これは下の図でいうところの「**支援**」にあたります。

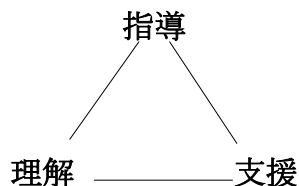
支援をするにあたっては、その子の特性を把握しなければなりません。これが「**理解**」です。

子供は日々成長します。よりよい方向に導くために行うことが「**指導**」です。

この構造をもとに、教育活動を計画し、その内容については常に学校と家庭が共有することが必要です。相互に情報交換できる関係を作り、「**納得**」した上で行うことが大切であると考えます。いろいろな条件があり、学校には、「できること」と「できないこと」があります。これを含めて納得いただくことが必要です。

この一連の取組を少しずつ確認しながら進めていくことが「**スモールステップ**」です。

本校の特別支援教育は、**急がず**、その子の**特性を「理解」**し、それに**応じた「支援」**を行い、**成長につながる「指導」**を行う。この取組を**学校と家庭で共有し、納得**の上で進めていきたいと考えています。



<特別支援教育の構造>

学校・家庭で共有 (納得)

「個別の支援計画と指導計画」の効果的な活用

では、「納得」を伴う学校と家庭の「指導・支援・理解」等の情報共有はどのように進めていけば良いのでしょうか。

その基となるのが「**個別の支援計画**」と「**個別の指導計画**」です。

「**個別の支援計画**」とは、お子さんの**将来について、現時点でどのように考え、それに向け家庭・学校・関係機関がどのように関わっていくかをまとめたもの**です。成人となる「18才の姿」をより具体的(例:「域内の高校を卒業し、地元の企業に就職」など)に家庭と学校等で共有し、その支援指導を考えていきます。

「**個別の指導計画**」とは、支援計画にもとづき、この**1年間、どのように指導支援してくかをまとめたもの**です。お子さんの特性に応じ、具体的な場面で、具体的な対応をまとめ、その評価をもとに次年度につなげていきます。

この2つの**計画をもとに、保護者の方と面談を定期・臨時に行い、納得を伴う情報共有**を図っていきます。この計画の写しを「サポートブック」として保護者の方にお渡します。このファイルは、「18才の姿」の実現のため、この後の進学先と共有した情報を綴っていくようになります。

特別支援学級のお子さんについては、すでに行っていますが、この考えにもとづき、より活用しやすい両計画の整備を進めています。通常学級に在籍するお子さんでも必要な場合は面談を通し、効果的な指導支援になるよう、順次整備をしていきたいと考えています。

※ 長期にわたる指導支援を「支援計画」とし、短期の指導支援計画を「指導計画」としています。

先の「特別支援教育の構造」でいう「支援」と「指導」とは同一ではないので注意してください。

学校評価(2学期末)について

本校の学校教育活動の充実のため、多くのご意見をいただき、感謝申し上げます。詳細は後日学校評価の結果としてお知らせしますが、学校の取組の意図を含め、何点かのご意見に対し、回答させていただきます。

- 「登下校の仕方」「冬季帰宅時刻の徹底」「高学年の児童の挨拶ができていない。」「先生方の乱暴な言葉遣いが気になる。」

→ 子供たちの安全のため、**生徒指導担当を中心に再度指導**させていただきます。

挨拶については、家庭の指導が必要です。各家庭で指導いただき、**学校でも集団生活の中での挨拶の重要性など挨拶の意義などについて丁寧に指導**していきたいと考えます。

※ 先の学校だよりで記しました「役割」と「連携」の場面として取り組んでいきます。

指導者の言葉遣いについては、教職員でご批判があったこと共有し、対応していきます。

- 「マラソン記録会がつまらなくなった。学習発表会の発表が兄弟で重なって残念だった。」

→ マラソン記録会については、学校だより5月号を再度お読みいただきたいと思います。加えてびわのかげまでの移動で、本来の体育の活動ができないなど、子供たちの学びを重視した点もご理解ください。その上で、本校の**マラソン記録会のねらい達成に向け、子供たちが意欲的に活動できるよう、家庭での声かけ(連携)をお願いしてきた**ところです。

このような感想もありました。「各自が自分との戦いに集中できるやり方に工夫されていると思いました。」子供たちへの声かけの参考にいただければ幸いです。

「景色が変わる楽しさをあじわわせたい。」との意見がありました。運動のもつねらいは多様で、このねらいも素晴らしいです。ぜひ、このねらいの実現のため、**家庭で子供と一緒に話し合っ**て既存の大会へ参加するなど検討してみてください。このことは、とても充実した「家庭教育」であると考えます。「学校教育」と「家庭教育」との違いをご理解いただき、このような機会を様々な場面で取り入れていただければと思います。

学習発表会は、体育館工事の影響があり、やり方を変更しました。次年度は反省をもとに再度計画していきます。

- 「プリント類のメール配付の対応ができていない。」

→ **メールの活用については基本的に緊急時を想定**しています。全ての家庭がメールを効果的に活用できる状況にはないことや、プリントの良さを生かしていくことも大切であると考えているためです。学年だよりなど、基本的には保護者対象ですが、お子さんと一緒に内容を確認していただきたい内容などはプリントと一緒に見て線を引きながら確認していただければと思います。

- 「朝食について見直そうについては、やめていただきたい。」



<「さすけねえ」ファイル>



→ 先の学校だよりで「家庭の役割・学校の役割」について記させていただきました。この観点からすると、ご意見のとおりで、家庭でしっかりやっていただければと思います。働き方改革の中の「諸調査の削減」と合わせて県の調査からなくしていくよう要望をしていきたいと思います。

● 「下校の時間を守ってほしい。」

→ 冬季になり、下校のタイミングでお迎えに来ている保護者の方々そして療育医機関の方々は寒い思いで待ってくださっている姿を目にしていました。遅くなる理由を確認し、安全に下校できるようにしていきたいと思います。

● 「保護者の集いを開催したい理由がわからない。」

→ 保護者の集いについては、学校行事ではありませんので、PTAの会合にてご意見を願います。ただ、学校だより11月号で記させていただきましたが、子供たちの健全育成のためには保護者同士が情報を共有し、望ましくない言動を子供がとった際はその場で指導していくことが大切です。その場合、自分の子供だけではなく、**相手の子供も指導できる関係性を互いの保護者間で構築しておく必要があります。**その関係を築く上でPTAの諸行事での交流が効果的であり、ぜひ活用いただきたい旨を記させていただきました。

改善を求める意見を中心に記しましたが、以下のような好意的な意見もありました。

○ 担任の指導がとても行き届いていると感じます。

○ いつも子供たちのためにありがとうございます。教師の働き方改革が叫ばれる中、PTA活動の更なる見直しが必要かと思います。

→ 教師の負担軽減が子供たちにとってマイナスにならないような工夫が必要だと考えます。

○ 子供の個別懇談(教育相談)を実施して下さり、ありがとうございます。

好意的なご意見をもとに、教師としてのやりがいを感じつつ、子供たちの健全育成に向け、3学期も取り組んでいきます。3学期に反映できない内容は、現在行っています「令和7年度教育課程」に反映していきたいと考えます。



3(月) 豆まき集会(T)

つどいの広場(1年)

5(水) 新入生保護者入学説明会

学用品販売

学力向上(T)

7(金) 避難訓練

10(月) 全校集会(T)

11(火) 建国記念の日

12(水) 6年生授業参観・懇談会

中学校を知ろう(進路説明会)

13(木) 学力テスト(国語)

PTA役員会

14(金) 学力テスト(算数)

19(水) 学力向上(T)

20(木) 1~5年授業参観・懇談会

第3回PTA実行委員会

23(日) 天皇誕生日

24(月) 振替休日

26(水) 鼓笛移杖式(T)



切り取り線

お知らせコーナー

※ 学校の教育活動等に、ご意見ご感想がありましたら、ご記入いただき、お知らせください。(校長)

()年 保護者氏名(児童名)

()